



# SPE 日本支部 Annual News Letter

84 countries and 22,500+ members strong,

we unite plastics professionals worldwide

helping them succeed and strengthening their skills

through networking, events, training, and knowledge sharing.

## SPE 日本支部長 ご挨拶

### プラスチックの資源循環と持続的な発展を目指して

現在も続くコロナウイルスの影響は、プラスチック材料や加工メーカーのみならず様々なユーザーにも大きな影響を与えている。しかし、欧州では経済停滞を危惧し、With コロナの日常へ移行している。また、我が国も行動制限から脱却して、個人個人の自己判断での行動制限に移行した。海外からの技術者のみならず観光客の受け入れを始めている。我々も海外出張が活発化され、我々も With コロナの世界へと社会活動がスタートしている。さて、これらの制限緩和が進む中、プラスチック成形加工業も見直され、海外生産からの国内回帰も議論されている。また、ロシアのウクライナ侵攻に伴い、全世界での原料不足や経済活動の停滞も影響しており、先行きは不透明であり、日本国内での生産力向上が重要な課題になるであろう。



伊藤浩志  
SPE 日本支部長

近年のプラスチックに対する様々な施策の一つであるプラスチック資源循環促進法が、2022年4月1日に施行された。資源循環や Circular Economy (循環型経済) は、廃棄物から資源など取り出してリサイクルを行うこと、また、廃棄物を出さず資源を再利用する経済の在り方である。プラスチック資源循環促進法は、製品の設計から廃棄物の処理まで、プラスチックの資源の循環等の取組を促進するための法律である。資源循環を考慮、意識した今後のプラスチックのもののづくりが必要不可欠であることが自明であり、プラスチックの使用削減・再利用・合理化(リサイクル)すること、さらに再生可能性の観点から再生素材や再生可能資源(バイオマスプラスチック等)に適切に切り替えることが求められている。

プラスチック産業においては、暗黙知だったノウハウを形式知に変えていくことが必要であり、これまでの技術ノウハウをデータベース化、AI技術やコンピュータシミュレーションなどを利用した効率的なものづくりへの変革が不可欠である。ロボット活用、情報の共有化、情報処理による在庫管理や作業のリードタイム短縮化、効率化による、プラスチック産業の「スマートものづくり」を期待している。

我々の生活を便利に豊かにしてきたプラスチックは、今後の生活においても必要不可欠であることは間違いないものである。持続的に発展するためには、次世代の技術者、研究者に、プラスチックの重要性を伝え、課題となる環境問題、リサイクル技術、新たな再生可能資源プラスチック、その「ものづくり」技術などを伝えていきたい。

SPE 日本支部は今後も、時代に沿った研究・技術の講演会、見学会を通じて、プラスチック分野の最新・最先端技術や基礎研究の話題を提供し、強固な会員ネットワークのもと相互研鑽と会員のブレイクスルー実現に向けて着実に活動していく予定である。今後とも、強固な会員ネットワークのもと、相互研鑽と会員のブレイクスルー実現に向けて、着実に活動していく所存である。本分野に携わる多くの技術者の SPE 日本支部への参画をお待ちしている。

## 2022 年度役員 (2021/7-2022/6)

役割	氏名	所属
支部長	伊藤 浩志	山形大学
副支部長	辻脇 伸幸	積水化成成品工業(株)
副支部長	川崎 真一	(株) KRI
副支部長	齊藤 卓志	東京工業大学
幹事	小林 豊	山形大学
幹事補佐	西辻 祥太郎	山形大学
カウンセラー	澤 周作	(株)テクノベル
会計担当	及川 昭	住友ベークライト(株)
会員担当	仙波 健	(地独)京都市産業技術研究所
会員担当補佐	金 容薫	古河電気工業(株)
相談役	伊澤 慎一	ナノ構造ポリマー研究会

役割	氏名	所属
広報 NL 担当	梅田 杉也	(株)テクノベル
Web 担当	田代 昌秀	MSAI
企画	飛鳥 一雄	日本ポリプロ(株)
企画	安部 光智	日本ゼオン(株)
企画	柴田幸樹	東洋製罐 GH(株)
企画	加藤真理子	大阪ガスケミカル(株)
企画	佐藤公俊	国土館大学
企画	米村真実	旭化成(株)
監事	浅山 基弘	(株)プラスチック・エージ
監事	葛良 忠彦	包装科学研究所

## 2021 年度 主なイベント

昨年度から引き続き新型コロナウイルスが蔓延する中、2021 年度は Web での講演を中心に、6 回の講演会を開催。

本年度の全講師数は 24 名、全参加者数は 179 名であった。

特に、2022 年 6 月の講演会は、アフターコロナ初となる現地開催で行われ、ハイパーサイクルシステムズ様の工場見学も同時開催された。

2021 年 8 月 20 日 カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに向けた新技術・製品開発の取組み /SPE-ANTEC2021 講演紹介		
バイオマスエンブラ「デュラビオ」の特徴と用途展開	三菱ケミカル(株)	草香 央
プラスチック資源循環を実現するリサイクル技術開発およびその社会実装	旭化成(株)	井出 洋一郎
バイオマスプラスチック業界のマクロトレンドや各国企業の取組み	三井物産プラスチック(株)	古賀 晋一
グリーンバイオプロセスによる芳香族化合物の生産技術	(公財)地球環境産業技術研究機構	乾 将行
ANTEC2021 講演: 3D Numerical Simulation and Experimental Observation of Bubble Growth and Collapse in Nitrogen-Gas S	金沢大学	瀧 健太郎
2021 年 10 月 15 日 新規高機能ゴム材料および開発技術		
天然ゴムのナノ海島構造の発見とその模倣ナノコンポジットの創製	長岡技術科学大学	河原 成元
HAICoLab, 人と AI との協奏によるマテリアルズ・インフォマティクスのためのデータ駆動型研究開発	横浜ゴム(株)	小石 正隆
4 次元 X 線 CT 法で見たゴムの破壊現象	住友ゴム(株)	間下 亮
鉄道車両用防振ゴムの開発動向	住友理工(株)	村谷 圭市
2021 年 12 月 10 日 環境・エネルギー		
人工光合成技術の実用化へ向けた取組み	三菱ケミカル(株)	堤内 出
全樹脂電池の開発	APB(株)	堀江 英明
無機化合物蓄熱材(エネバンク)®とその応用	(株)ヤノ技研	矢野 直達
熱マネジメント材料の基礎と産業への応用	産業技術総合研究所	伯田 幸也
2022 年 2 月 2 日 第 15 回 NANO/SPE 合同講演会		
高分子材料表面および界面での物性・構造評価 ～走査プローブ顕微鏡を中心に～	(株)三井化学分析センター	生井 勝康
古河電工のポリマー技術	古河電気工業(株)	伊倉 幸広
カニ殻由来のキチンナノファイバーで補強した高分子と生体接着剤の開発	鳥取大学	伊福 伸介
ラマン分光を利用した樹脂成形体中の応力測定	京都工芸繊維大学	西川 幸宏
2022 年 4 月 21 日 自動車における難燃化技術の実績と、今後の難燃化技術ニーズ		
オートモーティブと難燃材料	(一社)難燃材料研究会	大越 雅之
自動車における難燃化技術の実績と、今後の難燃化技術ニーズ	(株)本田技術研究所	平脇 聡志
電気自動車のバッテリーケースにおける軽量化と難燃化の取組みについて	日産自動車(株)	岡崎 一也
EV(バッテリーケース等)での難燃材料技術の動向概況	出光ファイコンポジット(株)	磯貝 修
2022 年 6 月 24 日開催 サークュラーエコノミーとしての樹脂成形品リサイクル・リユース		
見学 家電リサイクル工場	(株)ハイパーサイクルシステムズ	
家電リサイクルプラスチックの自己循環技術の開発と課題	三菱電機(株)	松尾 雄一
インフラ関連のサーキュラーエコノミー: ガス用ポリエチレン管リサイクルとガスメーター部材リユース	元 京都工芸繊維大学	西村 寛之
自動車リサイクルの現状と将来への課題	(公財)自動車リサイクル促進センタ	阿部 知和



2022 年 6 月 ハイパーサイクルシステムズ様への会社訪問の様子

## 2021 年度決算報告

損益計算書 (2021/07/01 ~ 2022/06/30)			
収支の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
入会金	0	本部年会費	0
支部年会費前受	510,000	米国送金手数料	0
支部年会費	240,000		
本部リベート	13,891		
例会、セミナー	255,000	例会、セミナー	355,155
雑誌図書代金	0	雑誌図書代金	0
銀行利子	34	通信費	252
雑収入	0	広告宣伝費	632,000
		旅費交通費	0
		事務用品費	0
		雑費	4860
小計	1,018,925	小計	992267
		今期収支差額	26,658
前期繰越金計	3,621,295	次期繰越金	3,647,953

## 2022 年度 SPE 日本支部活動

日時	イベント	開催
2021/8/20	理事会・総会	Zoom
2021/10/15	運営委員会	Zoom
2021/12/10	運営委員会	Zoom
2022/2/2	運営委員会	Zoom
2022/4/21	運営委員会	Zoom
2022/6/24	運営委員会	現地 & Zoom

2021 年度の支部活動として、2021 年 8 月 20 日に理事会、総会を開催。また、運営委員会は 10 月 15 日、12 月 10 日、2 月 02 日、4 月 21 日、6 月 24 日に計 5 回開催した。内 4 回は zoom 開催、1 回は対面開催となった。

## SPE 米国本部活動について

**SPE**  
Annual Report 2021

SPE 米国本部 2021 年度活動について確認できます。Journal Publications, SPE Foundatoin, Finance Review や Event 等の情報が記載されています。  
URL:<https://www.4spe.org/i4a/pages/index.cfm?pageid=6607>



SPE が主催する ANTEC 2023 が、2023 年 3 月 27 日から 30 日まで米国デンバーにて開催。プラスチック産業における最新の学術研究を紹介し、新しい技術進歩や革新について学ぶことができます。  
URL:<https://www.4spe.org/i4a/pages/index.cfm?pageid=7927>